

# 筑波大学新聞

## 第368号

編集責任  
筑波大学新聞  
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699  
E-mail shinbun@un.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 注目記事

- 稲田さんCAF賞 最優秀賞
- 「あるきまわる」展 真壁地区で
- テニス阿部学生タイトル全制覇
- 筑波大生古着店オープン
- ASルーム開設 障害学生支援に

### 特集

- 退職職員に聞く 6・7  
教育者・研究者 人生の軌跡
- ミニ特集 3  
大学での栄光を胸に  
旅立つアスリート

# 筑波大「AAA」と「AA+」 信用格付け 大学債発行見据え

## 他大学の最新の信用格付け状況

	日本格付研究所 (JCR)	格付投資情報センター (R&I)
大阪大学	AAA (2022年1月)	AA+(2021年12月)
東京大学	AAA (2021年12月)	AA+(2021年12月)
東海国立大学機構	AAA (2021年12月)	AA+(2021年12月)
東北大学	AAA (2021年11月)	AA+(2021年11月)
九州大学	AAA (2021年3月)	—
電気通信大学	AA+(2021年10月)	—
東京工業大学	—	AA+(2021年3月)

(取材を基に作成)

筑波大は1月14日、日本格付研究所(JCR)と格付投資情報センター(R&I)から信用格付けを新規取得したと発表した。JCRからは最高位の「AAA」、R&Iからは日本プリンと同等の「AA+」の評価を得た。今回の格付け取得は、大学の財務状況や経営状況に関する客観的な評価を外部から得ることで、経営の透明性と信用力を高め、大学債発行を含む多様な資金調達の手段を確保する狙いがある。財務部の担当者は「今後、学内の意思決定を踏まえて、文部科学省から大学債発行の承認を得られるよう、申請の準備を進める」としている。

信用格付けは債務の支払い能力を総合的に判断し、ランク付けしたものだ。大規模な投資を行う際に、投資家が投資をするかどうかの判断材料になる。文科省は国立大学の債券発行に伴う手続きを示す中で、格付けを取得していない債券は信用度が低く、販売が困難になるとしている。JCRは格付け事由の中で、筑波大を「学際性」と「国際性」を強みに、日本の大学改革の先導的役割

を担う」と評価し、債券発行が財務リスクを高めるものではないとした。大学債は、2020年6月の国立大学法人法施行令などの改正で発行要件が緩和された。金融機関からの借入れとは異なり、元本の分割返済は行われず、毎年、利息を投資家に支払いながら、満期に一括償還する制度であり、大学の新たな

な資金調達法として注目されている。永田恭介学長は昨年3月の本紙取材に対し、大学債を活用して学生宿舎の建て替えや「IMAGINE THE FUTURE」(仮称、ITF Forum)、「インベーション」(仮称、イノベーション)の建設を進めたいと語っていた。

20年に国立大学として初めて大学債を発行した東京大は、昨年12月に2度目となる「東京大学FSI債」100億円分を発行した。また、同月には名古屋大と岐阜大が統合した東海国立大学機構が信用格付けを新たに取得するなど、国立大学法人の信用格付け取得や更新が相次いでいる。

## 箱根駅伝 福谷5区で好走



関東学生連合チームで「山登り」の5区を走り、笑顔でゴールした福谷颯太(体専3年)(9面に関連記事)

箱根駅伝の5区で好走した福谷颯太(体専3年)は、笑顔でゴールした。箱根駅伝は、2020年6月の国立大学法人法施行令などの改正で発行要件が緩和された。金融機関からの借入れとは異なり、元本の分割返済は行われず、毎年、利息を投資家に支払いながら、満期に一括償還する制度であり、大学の新たな資金調達法として注目されている。

## 関東鉄道バス ダイヤ改正一部で減便 コロナ禍の赤字が影響

関東鉄道(本社・茨城県土浦市)は昨年12月20日、路線バス全エリアを対象にしたダイヤ改正を実施した。筑波大関係では土浦駅、荒川沖駅、ひたち野うしく駅、3駅をそれぞれ出発し、つくばセンター(つくば駅)経由で筑波大学中央に向かうバスの多くが同センター止まりとなり、筑波大学中央からつくばセンターへの便数も減少した。筑波大学循環(右回り、左回り)のダイヤに変更はない。

ダイヤ改正により、土浦駅発筑波大学中央行の平日は50本から16本、土浦駅発ひたち野うしく行の平日は4本から1本に減便され、残りのはつくばセンター止まりになった。

## ダイヤ改正前後の便数

各駅から筑波大学中央	平日(本)		休日(本)	
	平日(本)	休日(本)	平日(本)	休日(本)
土浦駅	50→16	40→3		
荒川沖駅	4→1	変更なし		
ひたち野うしく駅	変更なし	変更なし		

## 筑波大学中央から各駅

筑波大学中央から各駅	平日(本)		休日(本)	
	平日(本)	休日(本)	平日(本)	休日(本)
土浦駅	46→8	39→6		
荒川沖駅	変更なし	変更なし		
ひたち野うしく駅	3→2	変更なし		

(関東鉄道の資料を基に作成)

いた便数も、土浦駅行の平日便が46本から8本、土浦駅発ひたち野うしく行の平日便が39本から6本、ひたち野うしく行の平日便が3本から2本になった。減便の背景には、関東鉄道の経営悪化がある。コロナ禍による利用者数減少で、2020年度が109億1500万円と前年度の155億8100万円の赤字が16億6100万円の赤字となった。今回のダイヤ改正では、利用者数が少ない午前11時から午後4時台を中心に大幅な減便に踏み込んだ。同社の担当者は「利用者負担を最小限に抑えるために、大学循環の減便は見送った」と話した。

また、総務課は1月25日、筑波キャンパス内を走る路線バスに何度も乗り降りできる定期券を、来年度4月から値上げすると発表した。コロナ禍の利用者減などが理由で、価格を1万9000円(現行は9500円)に引き上げる。同課は、来月2日と10日に、学生向けの説明会を開く予定だ。



フォワードとしてチームの攻撃の要となった森(昨年12月11日、京都産業大戦で)

## 森選手 蹴球部退部しプロへ 3年生での挑戦「覚悟持ってプレー」

筑波大学蹴球部の得点源として活躍した森選手が、蹴球部を退部し、プロサッカー選手を目指す。森選手は入学直後の関東大学リーグ開幕戦でハットトリックを決めるなど、1年時からフォワードとして活躍した。森選手は昨年12月27日に開かれた蹴球部の合同記者会見で、「正しい決断だった」と語る。森選手は「1年間、強い覚悟を持ってプレーしたい」と決意を語った。

森選手は昨年12月27日に開かれた蹴球部の合同記者会見で、「正しい決断だった」と語る。森選手は「1年間、強い覚悟を持ってプレーしたい」と決意を語った。

小井土正亮監督(体育系助教)は「一教員としては、卒業論文の執筆だけでなく、活動と学業をきちんと両立させてきた。今後は教員としてだけでなく、競技者の立場としても彼のキャリアを応援したい」と話した。(細井真生 人文学類2年写真も。8面に関連記事4面に記者の声)

## 筑波お話し

自然豊かな場所で仕事や育児をしたい。つくばで生まれ育ったせいかな、ずっとそう願ってきた。ただ、選べる仕事の幅や教育の質を考えると、地方よりも大都市に軍配が上がる。ならば、地方をもっと活性化してほしい。そんな思いから、大学では地方創生について学びたいと考えた。しかし、その進め方にはさまざまな手法がある。何を専門にするかは、もっと勉強してから決めたい。それが、移行する学類・専門学群を入学後に決める筑波大総合学域群に進学した大きな理由だった。だが、履修科目や成績などに応じて移行先が決まる規定が壁となり、好きなままに履修を組むことができ

なかった。興味はあっても、履修を諦めた科目がいくつもあって、それでも、同級生たちと、将来やりたいことについて話したのには貴重な体験だった。高校までは、将来の夢を語り合ってきたが、なんだか気恥ずかしくなった。移行先を模索するという同じ境遇が、会話を促したのかも。れない▼そうした中で浮かんだのが、芸術専門学群だ。これまで思いもなかった学類への移行だ。芸専は絵画や彫刻などのイメージしなかつた分野だが、イベント企画や人が集まる公園設計など、まちづくりにもつながると知った▼移行先の1次判定が出るのは3月14日。この1年の経験は、無駄ではなかったと言え、学生生活を送りたい。

# ハラスメント苦情相談

## 16年に相談センター設置

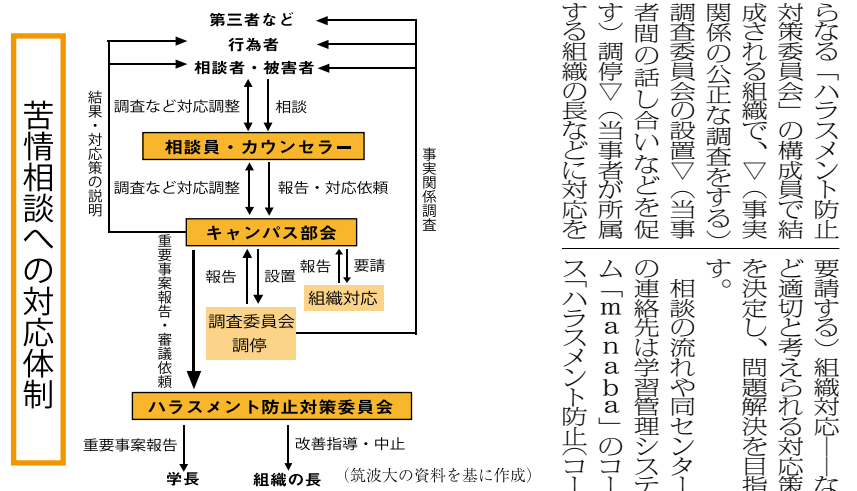
筑波大は2006年7月に「ハラスメント防止宣言」を出した。これに先立ち、05年には、ハラスメントに関する大学の対応を示した「ハラスメントの防止等に関する規程」を制定。16年にはハラスメントに関する相談業務などの充実を図るためハラスメント相談センターを設置するなど、ハラスメントのないキャンパスの実現を目指している。同センターや学生相談室などに学内のハラスメントに関する苦情の申し出及び相談(苦情相談)への対応体制を取材した。

(及川千翔Ⅱ人文学類2年、山田優芽Ⅱ比較文化学類2年)

### 筑波大の対応体制

筑波大では、専門資格を持つハラスメント相談センターのカウンセラーと、教職員の中から2年の任期で選ばれるハラスメント相談員が苦情相談にあたる。今年度は、筑波キャンパスに22人、東京キャンパスに27人の相談員が置かれている。人の相談員が置かれていないで相談に応じる。また、相談者が希望した場合、ハラスメント苦情相談記録簿を相談者と共に作成し、筑波と東京の各キャンパスに置かれた「部会」のいずれかに報告する。

これら2つの部会は、学内各組織から選ばれた教職員が



らなる「ハラスメント防止対策委員会」の構成員で構成される組織で、▽(事実関係の公正な調査をする) 調査委員会の設置▽(当事者間の話し合いなどを促す) 調停▽(当事者が所属する組織の長などに対応を要請する) 組織対応▽(必要と適切と考えられる対応策を決定し、問題解決を目指す)。

相談の流れや同センターの連絡先は学習管理システム「mana」のコーナー「ハラスメント防止」

### 気軽に相談を

スコードxx20248)に登録すると閲覧できる。相談予約は電話やメールで受け付けている。

ハラスメントに限らず、筑波大生の困り事なら予約なしでも受け付ける窓口が「総合相談窓口」だ。適切な相談先が分からない場合もこの窓口になる。学生や教職員、保護者などからの相談に対応し、必要に応じて、ハラスメント相談センターや保健管理センター、学生相談室など、相談内容に合った学内の各種窓口を紹介する。

同窓口はスチューデント・プラザ(029-853-8430)と春日エリア(029-856-1207)

### 筑波大教員 逮捕 強制わいせつ容疑で

強制わいせつ容疑で、筑波大の教員を強制わいせつ容疑で逮捕した。水戸地検土浦支部は同27日、筑波大の教員を強制わいせつ容疑で逮捕した。この教員は昨年4月から9月にかけて、筑波大構内

で県内在住の20代女性に数回にわたりわいせつな行為を行ったとされる。教員は「強制的にわいせつな行為をした認識はない」と、同署の逮捕時の取り調べに対して容疑を否認していた。

筑波大は教員の逮捕当日の昨年12月7日に記者会見を開催。加藤和彦副学長(総務人事・情報環境担当)が「筑波大の教員が強制わいせつ容疑で逮捕されたことは誠に遺憾で、被害者に対して心からお詫の申し上げる」と謝罪した。

また、ウェブページでも「国立大学法人の教員という立場の者が、構内において、かかる行為を行ったことは許されざることであり、大学としてこのための事態を極めて重く受け止めています。今後、詳細が明らかになった段階で、大学として厳正な処分を行います」との見解を明らかにした。

(及川千翔)

### 共通テスト実施 昨年に続きコロナ下で

大学入学共通テストの本試験が1月15日、16日に行われ、1日目は「地理歴史公民」「国語Ⅰ」「外国語Ⅰ」が、2日目は「理科Ⅰ」が実施された。

試験会場入り口や各試験室には消毒液が設置された。牛久市の受験生は「コロナ禍で学校に行けない時期が多かったが、授業のオンライン配信など学校や塾のサポートに助けられた。直前にあって、オミクロン株の感染者が増加し、不安もあったが、無事受験できて良かった。普段通りの力を出した切れた」と話した。(及川千翔、車谷郁実、12面に関連写真)

# CAF賞 稲田さんが最優秀賞

## 学生の生活の息遣い表現

国内最大級の学生向けアートコンペティション「CAF賞2021」(現代芸術振興財団主催)の最優秀賞に、稲田和也さん(情報P前期1年)の作品「住人たち」が選ばれた。平砂学生宿舎9号棟の明かりを、周辺の学生の生活と連動させてもつ作品で、コロナ禍の中で人々が暮らすとはどういうことを考えた点などが評価された。稲田さんは「工学技術を使った作品が芸術の分野でも評価され、とてもうれしい」と受賞の喜びを語った。

(坂田利通Ⅱ人文学類1年)



作品「住人たち」(平砂学生宿舎9号棟)の明かりが夜間に浮かび上がる=稲田さん提供

同賞は若手芸術家の創作活動を支援を目的に開催されている。「住人たち」は昨年11月の審査で、約500点の応募作から選ばれた。

作品の舞台は、老朽化で使われなくなった平砂宿舎9号棟。2階と3階の計23室の電灯と筑波大周辺に住む学生の部屋を明かりを連動させ、学生の部屋で明かりがつけたり消えたりする

# 若者の献血リピーター頼み

## コロナ禍で裾野縮小

茨城県の若年層(10代から20代)で、初めて献血する初回献血者数が減少傾向にある。2019年は5353人だったが、21年には約13%減の4669人になった。コロナ禍で、大学や高校に献血バスを配車する「学域献血」が減少した影響が大きいとみられる。献血ルームでの献血が

増えていたため県内で血液不足が生じていないが、茨城赤十字血液センターは「献血者数の減少が懸念を示している」と懸念を示している。

県内では、県赤十字血液センターの献血ルーム(水戸市、つくば市)と献血バ

と、平砂宿舎の明かりもついたり消えたりするようにした。学生の部屋の明かりがつけたり消えたりすることを検知するセンサーは、稲田さんが自作した。

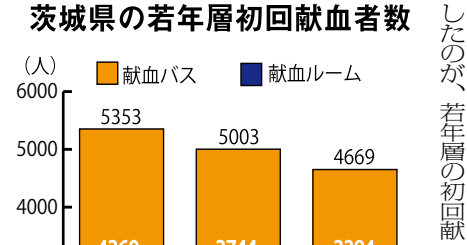
この作品は2019年5月6日、筑波大の有志学生が集まり「平砂アートイベント」が平砂宿舎9号棟を会場に企画した美術展「ここ」において、みせる/みる」で初披露された。

稲田さんは「ここでしかできないものを作りたい」と、居住者がいなくなった学生宿舎の電灯を使うことを思いついた。居室の電灯の明滅を通じて、大学周辺に住んでいる、お互いに顔も知らない学生たちの生活の息遣いを表現する狙いがあった。稲田さんは「大学周辺の学生コミュニティは無数に存在する。作品を通じて、学生社会の多様性を

感じてほしい」と話す。今回の入選作は11月24日、代官山ヒルサイドフォーラム(東京都渋谷区)で展示された。「住人たち」は、宿舎の写真や模型と、協力した学生たちが漏らした「昼夜逆転しがち」

「夜はまたまた長い」一族で住んでいます」などの言葉が紹介された。

最優秀賞の受賞者には賞金100万円と副賞として、個別の機会が提供される。稲田さんは来年度の実施に向けて準備を進めている。



ス会場でも献血ができる。これら2通りの献血者数の合計は、19年の9万8021人から、21年には10万6681人と1割近く増えた。同センターによれば、コロナ禍の影響で献血が不足しているなどの呼びかけが、メディアで伝えられたことなどが大きいという。だが、初回献血者は6917人から6160人に減少した。大きく影響したが、若年層の初回献血者数の減少は、学域献血の減少が大きいとみられる。県赤十字血液センターの献血ルーム(水戸市、つくば市)と献血バ

### 文科相表彰 受賞 たいそう教室

筑波大体育系アパテッド体育・スポーツ学(AdS)研究室が主宰する「たいそう教室」(代表・齊藤けい)が、文科省から表彰を受けた。

たいそう教室は毎週月曜日、筑波大中央体育館体操場で開かれる。現在は、つくば市内の小中学生から中学生まで約10人の児童・生徒が、同研究室の大学院生と一緒に体を動かす。難聴や肢体不自由などの身体障害があり、今後の発展や普及が期待される奨励者表彰がある。たいそう教室は功労者表彰を受けた。今年度は全体で個人5件、団体53件が受賞した。(中山友晴Ⅱ生物学類2年)

たいそう教室は、長期にわたる活動をたええる「功労者表彰」と活動に顕著な成果があり、今後の発展や普及が期待される奨励者表彰がある。たいそう教室は功労者表彰を受けた。今年度は全体で個人5件、団体53件が受賞した。(中山友晴Ⅱ生物学類2年)

### おこたわり

筑波大学新聞では今年1月5日、筑波大生をターゲットにしたハラスメント問題に関するオンラインアンケートを実施しました。結果は第368号(1月31日発行)に掲載する予定としていますが、まだまだ明らかになっていないため、今後の掲載とします。

# 大学での栄光を胸に 新たな舞台へ 旅立つアスリート

スポーツの強豪校として数々の名選手を輩出してきた筑波大から、今春も多くのアスリートが新たな舞台へと旅立つ。その中でも大きな活躍を見せた5人に、大学での競技生活や今後の展望を聞いた。

## 考える野球 プロにつなげる

野球

佐藤隼輔(体専4年)



団からも注目を集めた。だが高校卒業後は、大学の道を志した。「プロが憧れだったが、プロで活躍できる自信がなく、大学卒業後のドラフト1位指名を目標に、進学を決めた」と当時を振り返る。

ラート競技 萩原沙里菜(体専4年)



ラートは、二つの大きな鉄製の輪を平行につないだ器具だ。競技では、このラートを自在に操り、パフォーマンスを披露する。ラートは、二つの大きな鉄製の輪を平行につないだ器具だ。競技では、このラートを自在に操り、パフォーマンスを披露する。

最速150km/hのストリートと、制球の良さを生かしたスライダー、チェンジアップを武器に、エースとしてチームを支えた。昨年10月のプロ野球新人選手選択(ドラフト)会議では、埼玉西武ライオンズから2位指名を受けた。

## 東京パラに懸けた6年間

パラカヌー

瀨立モニカ(体専4年)



東京パラを本格的に意識したのは、大学1年時に出場したリオデジャネイロパラリンピック。競技歴わずか2年で女子スプリント・カヤックシングル200歳(運動機能障害者K1)の決勝に進出したが、最下位の8位に終わった。「東京では必ずメダルを取りたい」と意気込みを語った。

スタート時の強いこぎ出しが持ち味だ。ベンチプレスで80kgを持ち上げる腕力を生かし、パドルの素早い動きを推進力に変える。筑波大に入学したのは2016年。東京パラリン

ピックに備えて18年夏に休学、20年4月に復学した。東京パラでベストを尽くすことだけを考えた6年間だったという。

19年の世界選手権では、練習の成果を見事に発揮。5位入賞を果たし、東京パラの代表入りを決めた。今まで勝てなかった選手に勝つ。復学後は台所からオンライン授業に出席していた。

自身は硬式野球部提供(写真は硬式野球部提供)

## 大学から始めたラートで世界へ

萩原沙里菜(体専4年)

しかし、全日本選手権や日々の練習で先輩の演技に触れ、入学前に憧れていた気持ちを思い出した練習を再開し、2年時の夏に大学説明会に参加した。その時、体操部によるラートの演技を初めて見た。乗しようにラートを操る選手の姿に強く引かれた。「大学でこれをやりたい」と思ったという。そこで、入学後は体操競技部ではなく、ラートができる体操部に入部した。

4月から一般企業に就職するため、これまでのように毎日練習することは難しいかもしれない。それでも「ラートが好きなので、これからも続けたい」と、今後の活躍を誓った。

高橋度(体専4年)

「蹴球部には約200人の部員がいる。試合に出られない選手も多い。自分も部員に声をかけたい」と、練習のモチベーションを上げる。自分自身に筑波大を重んじ、チームを1部に昇格させる。自分自身に筑波大を重んじ、チームを1部に昇格させる。



2年時の全日本ラート競技選手権で跳躍を披露する萩原



4年時の全日本学生選手権でプレーをする田形

## 4年間チームに貢献

田形諒平(体専4年)

「卒業後はプロになりたい」という決意で高校最後の全日本ジュニア(同)に挑んだが、結果は本戦一回戦敗退。「自信が崩れ、納得のいくプレーができなかった」と振り返る。

「卒業後はプロになりたい」という決意で高校最後の全日本ジュニア(同)に挑んだが、結果は本戦一回戦敗退。「自信が崩れ、納得のいくプレーができなかった」と振り返る。

「卒業後はプロになりたい」という決意で高校最後の全日本ジュニア(同)に挑んだが、結果は本戦一回戦敗退。「自信が崩れ、納得のいくプレーができなかった」と振り返る。

強い責任感と覚悟を持つ。蹴球部の主軸の目は、常に未来を見据えている。

# 記者の声



細井真生

【一面参照】所属クラブのユニフォームを着た選手たちの笑顔がまぶしかった。

## 現役中から学べる機会を求められるリカレント教育

「リカレント教育」とは、一度卒業した者が再び大学で学び直すことを指す。筑波大では、プロサッカー選手が、現役中から学べる機会を求められるリカレント教育を受けることができる。...

例えば、弁護士を目指して勉強しながらリカレント教育を受ける選手など。筑波大では、リカレント教育の充実も欠かさない。筑波大は、社会人大学院を他の国立大に先駆けて東京に開設するなど、社会人の学び直しを積極的に推進している。...

# 筑波時評

「変動する現代社会に不断に対応しつづける多様性と柔軟性を備えた新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する」(傍点筆者)ことを、建学の理念に大きくうたった筑波大で最新の教育組織が、昨年4月に新入生を初めて迎えた総合学域群である。...

「他人より遅く」学ぶ学生 領域交差の仕掛け人に 複数の専門領域の学修を通じて広い視野から様々な問題を多角的にとらえる力(筑波大入学案内2022)の養成を目指す総合学域群の出身者に、筑波大の建学の理念が美し...

## 津崎良典 准教授(フランス哲学)



人文社会学系・准教授。パリ第一大パソテオニールボンヌ校哲学科博士課程修了。哲学博士。2015年より現職。近著に「デカルト 魂の訓練」など。

「他人より遅く」学ぶ学生 領域交差の仕掛け人に 複数の専門領域の学修を通じて広い視野から様々な問題を多角的にとらえる力(筑波大入学案内2022)の養成を目指す総合学域群の出身者に、筑波大の建学の理念が美し...

# 反射鏡

## 筑波大に今欲しいもの・こと

【心理P後期2年・男性】生協が欲しい。学生課にも研究室にいたい。週末も研究室にいたい。普通キャンシユレシユレを食べて、研究室からマホーで買物に行けるようにしてほしい。 【資源2年・女性】グループワークができる。教室だけでなく、廊下にもエアコンを設置してほしい。 【資工3年・女性】現金自動受払機(ATM)の対応金融機関を増やしてほしい。 【国際2年・女性】一の矢学生宿舎の周辺に街灯を増やしてほしい。 【比文1年・男性】陸上競技場の東側を通る陸上道路の陸橋脇にカーブミラーを設置してほしい。 【国際2年・女性】陸上競技場の東側を通る街灯を増やしてほしい。 【比文1年・男性】陸上競技場の東側を通る陸上道路の陸橋脇にカーブミラーを設置してほしい。 【国際2年・女性】陸上競技場の東側を通る街灯を増やしてほしい。 【比文1年・男性】陸上競技場の東側を通る陸上道路の陸橋脇にカーブミラーを設置してほしい。...



イラスト=大橋翔和(比較文化学類1年)

## 選択的夫婦別姓どう思う？

最高裁大法廷は昨年6月、民法の夫婦同姓規定は合憲だと判断した。だが、裁判官15人のうち4人は違憲との判断を示した。また、同9月の自民党総裁選や10月の衆議院議員選挙でも選択的夫婦別姓制度の導入が争点の一つになる。議論が活発になっている。筑波大生は選択的夫婦別姓制度をどう考えているのか。中央図書館前で聞いた。(坂田利通II人文学類1年、寺尾優太II比較文化学類2年、山田優芽II同2年)

【国際2年・男性】や不安を取り除くような説明をすることで理解が得られるのではないか。 【生物4年・女性】賛成。母国の中国では、夫婦同姓は一般的ではない。日本の制度を知って驚いた。名字が変わることで、名前全体の意味が変わることもあるはず。 【国公P前期1年・男性】賛成。研究者の氏名は、論文や発表などの研究業績ととも付いている。結婚や離婚で姓が変わると、業績の検索システムなどで別の人物と判定され、業績が少なくなる可能性がある。 【人文P前期1年・女性】賛成。母国のベトナムでは、結婚しても名字はそのままであることが多い。家族から受け継いだものを大事にするから。夫婦でも自分の名字を捨てることはできない。もし結婚相手...

# 真壁の街並み舞台

## 「あるさまわる」展開催

筑波大芸術学学位プログラム「現代美術演習」に参加した学生たちが成果を披露する美術展「あるさまわる」が、1月12〜30日まで茨城県桜川市の真壁地区で開かれた。同学位プログラムの学生7人が制作した8作品が真壁伝承館など地区内の6会場で展示された。

重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている。同展では、授業で学生が真壁の街を歩いて感じたり考えたことを基に制作した作品が、地区内に分散して展示されている。油絵から未来の電子書籍をテーマに仮想現実(VR)を使った作品まで、さまざまな現代美術作品が並び、観覧者は学生と同じように街を歩きながら作品を巡る。

高橋呼春さん(芸術P前期1年)は真壁産の花こう岩「真壁石」を使用した「石」を切り出した各辺30センチ程の立方体を三つ横に並び、鋭く切り裂



高橋呼春さんの「石」を切り出した各辺30センチ程の立方体を三つ横に並び、鋭く切り裂

かれたような傷が付けれ、その傷の断面に塗られた漆が黒く輝いている。「きれいに成形された真壁石を見て、自然に存在するものを人間が傷つけて、不自然なものにしていくと感じた。その違和感を表現したかった」と高橋さんは話した。

同展実行委員会の学生代表の柴田愛香さん(同一1年)は「作品を通して、私たちが街を歩いて考えたことを追体験してもらえたらうれしい。展示をきっかけに、筑波大生にはなじみが薄い真壁の街の魅力も気付いてほしい」と話した。

(寺尾優汰)比較文化学類2年、写真も

ポップス曲の第2部、演奏会のメイン曲「シバの女王ベルキス」(オトリノ・レスピーギ作曲)の第3部構成で、約400人の聴衆がメドレーを含む11曲の演奏を、2時間半にわたって楽しんだ。

第1部はマーチ「ブルースカイ」(高木登古作曲)の迫力ある演奏で幕を開け、東日本大震災の復興支援のために作られた「陽はまた昇る」(フィリップ・スパーク作曲)など4曲を奏でた。

幅広い層に知られる曲をそろえた第2部では、ジャズ風にアレンジされた「ジングルベル」やティンパニーのメドレーなど4曲を演奏。サンタクロースやミッキーマウスの衣装を着た指揮者、ステージ照明のカラフルなライトアップが会場を盛り上げた。

第3部で披露された「シバの女王ベルキス」はバレーエ組曲で、古代イスラエルの王ソロモンの物語を題材とした約23分の大曲だ。第1楽章は木管楽器の軽やかなメロディーから始まり、トランペットのきらびやかなファンファーレが会場を包んだ。

指揮を務めた関根千夏さん(比文3年)は、「各個人の音と全体の音が合うようにまとめて上げるのに苦戦した。本番では、この曲の顔となる、第1楽章の木管楽器からトランペットの音色へ盛り上がる部分で、とても良い音を響かせられた。終演後に振り返ってあ

いさつとした時に、お客さんの満足そうな顔を見れてうれしかった」と話した。

アンコールの「故郷の空 in Swing」(福田洋介編曲)では、この演奏会で引退する団員33人が独奏や楽器ごとの演奏を披露した。感極まって涙ぐむ団員の姿も見られた。

演奏会実行会議長の安倍啓貴さん(地球3年)は例年よりソロやパートごとの演奏が多く、それぞれの楽器の個性や魅力を伝えることができた。引退する3年

生にとっては集大成の場となったが、多くの人に聞いてもらえ、充実したものになった」と話した。(山田優芽、12面に関連写真)

### 初の修了研究展

#### デザイン学P

「デザイン学学位プログラム博士前期課程修了研究展」が1月7〜13日、総合研究棟Dで開かれた。学位プログラム制は2020年度に導入され、同展の開催は初めて。同学位プログラムに所属する学生17人の論文10本、作品7点が展示された。7日にはオンラインでの研究発表会も行われ、約130人が視聴した。

会場には、論文内容をまとめたポスターや作品が並べられて、多くの人に聞いてもらえ、充実したものになった」と話した。(山田優芽、12面に関連写真)

### 『午後の網目』

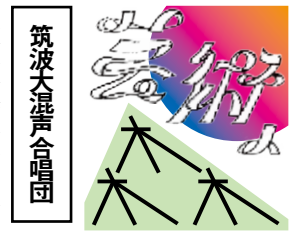
#### マヤ・デレン監督

デレンの「午後の網目(1943年)」である。なお、この映画は私の人生に特に大きな影響を与えていない。映画の概略を説明する。

道端で花を持った女A1が家に帰ると、電話の受話器が外れていて、レコードがかかっている。誰かが家に入ったようである。不審に思いつつ、A1はリビングのソファで寝てしまう。カメラがリビングから窓にパンすると、A1と外見上同一の女A2が、顔が鏡になっていて、裏着の女を追いかけた後、A1と同じ家に帰る。玄関の扉を開けるとA1の帰宅時には机の上にあったナイフが、なぜか階段に落ちていた。A2は構わず2階に上るが、謎の重力で1階に引き戻される。A2が窓の外を眺めると外見上同一の女A3が道端で花を拾い、家に帰って来るのを発見する。A3が玄関の扉をけると……。まあ、大体こんな話である。

この映画は、対象の動きを連続させることで、異なる時空間を接続できるモンタージュを露明した点と、女性監督が自由に作った最初のフェミニズム映画という点で芸術史上評価されている。また精神分析の領域では、女性が持つ無意識の性的イメージを初めて視覚化した点で考察されている。

ただ、私からすると謎の女による堂々巡りの悪夢的イメージが、超自然的な幻惑をかきたてられる点がこの映画の良さだと思ふ。映画は本来見世



### 筑波大混声合唱団

#### 46回定期演奏会

筑波大混声合唱団の第46回定期演奏会が昨年12月5日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。前年はコロナ禍で中止され、開催は3年ぶり。会場には約300人の観客が集まり、三つの合唱組曲が届けられた。

第一部で披露されたのは「あるさまわる」。生き

### 思いを「言葉と音楽」にのせて

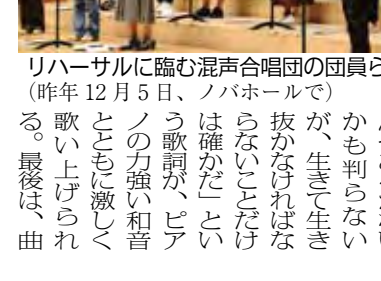
前のごとができず、悔しさを抑えながら生きていく自分の姿に、箱の中で体をくねらせるふゆの姿を重ねて詠んだ詩だ。

団員らは厚星の苦しみをコロナ禍で苦しんだ自分たちの思いに重ねた。指揮者の杉原日向さん(比文2年)は「当たり

### 吹奏楽団定期演奏会

#### 会場からやまぬ拍手

「悔のない一日をおくる」とも容易ならざる光栄である」という歌詞を同じ旋律で歌う。息継ぎのタイミングまでびったりとそろった4層の歌声が



吹奏楽団の団員ら(昨年12月5日)が、生きているかもしらない曲を演奏している。最後は、曲

敵かな印象を与えた。冒頭は四つのパート全てが「悔のない一日をおくる」とも容易ならざる光栄である」とい

歌詞の中で「容易ならざる」は強く、次の「光栄である」は弱く歌って

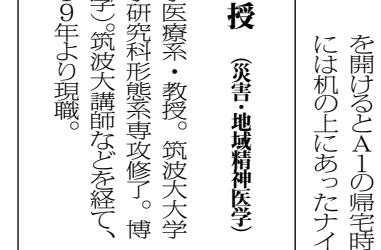
柔らかな印象を伝えるなど、歌詞に対して歌い方も変化させていた。

曲の後半では「幸福な曲からなる。

2曲目の「心ときめきするもの」は軽快なリズムが特徴だ。「こころこころ」というフレーズがテンポよく繰り返され、盛り上がり冷めないまま演奏会は幕を閉じた。(小栗あおい)社会学類2年、写真も)

「高野喜久雄作詞、高田三郎作曲」は白鷺や猿など5種類の動物の様子を描いた曲だ。1曲目の「翔白鷺」では高く舞い飛び、冬の空の彼方に消えていく白鷺の物語を伸びやかな旋律で伝えた。

アンコールでは、観客へクリスマスプレゼントとして赤鼻のトナカイが演奏され、観客も手拍子で音楽に参加した。会場の盛り上がり冷めないまま演奏会は幕を閉じた。(小栗あおい)社会学類2年、写真も)



太刀川弘和 教授 (災害・地域精神医学) 医学医療系・教授。筑波大学医学部研究科形態学専攻。博士(医学)。筑波大講師などを経て、2019年の現職。

前衛映画、あるいは実験映画は、映画の可能性を実験する芸術的な映画ジャンルを指す。その多くは自主製作で商業映画ではない。1960年代にはこれらの上映映画が都市部で盛んであったが、私が筑波大生で映画研究部に入った80年代にはほぼ廃れていた。当時の私は自主映画を作るか、今は亡き新宿の黙子フィルムアーカイブに通い、実験映画を見ていた。ケネス・アングァー、ジャン・コクトー、寺山修司などの実験映画群に心酔したが、今紹介したのは、女性監督マヤ・

### 私の一本

デレンの「午後の網目(1943年)」である。なお、この映画は私の人生に特に大きな影響を与えていない。映画の概略を説明する。

道端で花を持った女A1が家に帰ると、電話の受話器が外れていて、レコードがかかっている。誰かが家に入ったようである。不審に思いつつ、A1はリビングのソファで寝てしまう。カメラがリビングから窓にパンすると、A1と外見上同一の女A2が、顔が鏡になっていて、裏着の女を追いかけた後、A1と同じ家に帰る。玄関の扉を開けるとA1の帰宅時には机の上にあったナイフが、なぜか階段に落ちていた。A2は構わず2階に上るが、謎の重力で1階に引き戻される。A2が窓の外を眺めると外見上同一の女A3が道端で花を拾い、家に帰って来るのを発見する。A3が玄関の扉をけると……。まあ、大体こんな話である。

この映画は、対象の動きを連続させることで、異なる時空間を接続できるモンタージュを露明した点と、女性監督が自由に作った最初のフェミニズム映画という点で芸術史上評価されている。また精神分析の領域では、女性が持つ無意識の性的イメージを初めて視覚化した点で考察されている。

ただ、私からすると謎の女による堂々巡りの悪夢的イメージが、超自然的な幻惑をかきたてられる点がこの映画の良さだと思ふ。映画は本来見世

退職教員5人に聞く

教育者・研究者 人生の軌跡



総合大学として多種多様な教員がそろった筑波大学。今年もまた教育者として、研究者として活躍してきた多くの教員が定年退職を迎える。5人の教授にこれまでの軌跡を聞いた。(及川千翔) 人文学類、大橋翔和、天野隼太、寺尾優汰、比較文化学類、中山友萌香、生物学類

宗教を多面的に理解

専門は比較宗教学。宗教を社会的な側面と他面的な側面から比較することで、多面的な理解を深めることを目指してきた。

社会的側面とは、宗教が影響を及ぼす社会、政治、経済などとの関係のことだ。一方、他面的側面とは、シャーマニズムや神秘主義のように、個人の宗教体験に基づいたものを指す。

出身は鹿児島県山口永良部島。医師を目指して東京大理科2類に入学したが、同類から医学部に進学可能な人数はわずか、「入学後すぐに挫折した」という。次に希望した文学部も

成績が足りず、「人生終わらなから山林で余生を過ごす」と農学部林学科に進んだ。学部時代は新興宗教に興味を持ち、信者以外にも開放された集会があれば参加して話を聞いた。参加した宗教の多くは明治末に形成された大本教の流れをくむもので、その思想に親和性を感じたという。

研究人生を変えた恩師との出会い



津城 寛文 教授 (人文学部・比較宗教学)

大学院では宗教学を専攻し、他面的な側面を持つ大本教の鎮魂儀礼と民俗学者折口信夫が唱える鎮魂論の比較研究を行った。大学院修了後は、日本学術振興会の研究員を務めた。転機は1990年。大学

し、城西国際大のポストを紹介してくれた。折口について研究を生かし、民俗学の日本の「深層文化」に関する本の執筆を勧められた。「深層文化」とは、日(現米)ジョージタウン大名誉教授)の著作「近代世界の公共宗教」の翻訳を持ちかけてくれた。「宗教社会学」に関する授業も担当していた。井門先生は自分の研究人生を変えてくれた。感謝しても足りない」と話す。

学際性に魅せられ 筑波大へ

つよになり、著作はその授業の教科書となった。更に井門教授は、「宗教を社会的な側面から勉強で」を社会文化の起源を、言語や神話などから歴史学、民俗学的に究明する分野だ。出版以後同大で深層文化」に関する授業も担当していた。井門先生は自分の研究人生を変えてくれた。感謝しても足りない」と話す。

その後、静岡県立大を経て、2003年10月に筑波大に着任した。筑波大での授業でも、社会的及び世界的という二つの視点から教えた。「学生の視野が広がり、理解に厚みが出たのではないかと語る。

退職後は、再就職はしなかったが、研究活動は続いている。「執筆した宗教研究や趣味の和歌を自主出版し続けることが目標だ」と笑った。

中立な立場で 真実を追求

専門は法医学。これまで解剖した検体は上万体を超える。DNA鑑定技術革新にも取り組み、足利事件や袴田事件が冤罪であることを明らかにするなど、社会的正義の実現のために尽力してきた。

1975年、心理学類の前身である筑波大第二学群人間学類に入学。高校まで全く未知の学問だった心理学に、魅力を感じたからだ。だが学びを進めるうちに人間の「心の起源」に興味を湧かした。「心の起源を理解するには、人間の脳や身体への知識も必要なのではないか」と考え、人体の構造や機能を学ぶ解剖生理学に関心をもち、人間学類卒業

後、1年間の浪人を経て医学専門学群に再入学した。法医学の道を選んだのは「フロンティア精神」からだ。当時のDNA鑑定は日本ではまだ黎明期で、自身の手で新しい時代を切り開いていくかもしれないという夢があったという。

法医学者として最初の一步を踏み出した信州大での発見が、転機となった。1992年、個人の識別に利用できる4種類のDNA部位に関する実験を繰り返していた時のことだ。そのうちの1つであるMCT118を使うDNA鑑定法は、日本の警察に使われていたが、当時の検出方法では解析条件次第で誤鑑定を招くという重大な欠陥を見つけた。本田教授は再鑑定により無実が証明されたと感じた。

「誤りを指摘した後も約1年半、警察はこの方法でDNA鑑定を行っていた。かと思えば、背筋が凍る思いがした」と語る。信州大での発見を契機に「さまざまな捜査で真相が明らかになるまで、信州大で研究を続け、社会的正義の実現のために中立で正確な鑑定を続けていく。



庄司 一子 教授 (人間系・教育臨床学)

この経験から、授業は「くが育休を取得しやすく学生と共に考える姿勢を今も大切にしている。筑波大の教職を目指す学生は、学校生活で困難を抱えた経験が比較が少ない。体調や不登校などの実態を研究や調査で明らかにし、その困難さについて、学生自身に気づいてほしい」と訴える。

筑波大での教員生活は34年。学生の頃から数え、人生の大半を筑波大で過ごしたことになる。

この間、1994年に出産した。筑波大の教員で初めて育休を取得し、「これが名前の通り『一子』の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。



本田 克也 教授 (医学医療系・法医学)

「革新的な方法は、思い込みを避け、常識にとらわれない思考から生まれる」と研究人生を振り返る。今後は、2018年に自身が設立したNPO法人「法医学鑑定センター」で研究を続け、「社会的正義の実現のために中立で正確な鑑定を続けていく。

「法医学鑑定センター」で研究を続け、「社会的正義の実現のために中立で正確な鑑定を続けていく。

「法医学鑑定センター」で研究を続け、「社会的正義の実現のために中立で正確な鑑定を続けていく。

「法医学鑑定センター」で研究を続け、「社会的正義の実現のために中立で正確な鑑定を続けていく。

学校現場の問題解決を支援

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。

農業経営の変遷見つめて

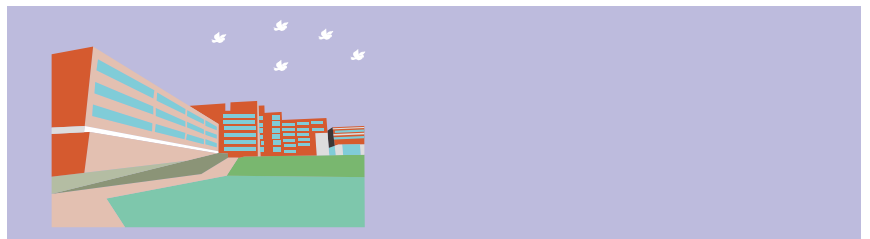


納口 りり子 教授 (生環系・農業経済学)

面積は元々1畧ほどだった。10畧を超える稲作経営が1970年代ごろから出てきた。農業は農家が代々継承する個人事業から、大型機械を導入した企業的な事業に大きく変貌を遂げる自由度が高くなり、さまざま

退職後は、再就職はしなかったが、研究活動は続いている。「執筆した宗教研究や趣味の和歌を自主出版し続けることが目標だ」と笑った。

退職後も何らかの形で学校での支援を続ける希望を持つ。「筑波大では、たくさんのお出合いに恵まれ、優秀な学生と出会い、多くの学びを得た。学生の皆さんには、一生の宝となる優れた教員や素晴らしい仲間との出会いを重ね、学び、自分を磨いてもらいたい」と話す。



# Hello! 先端研究



大津 徹生准教授

米国の複数の企業が昨年、民間人の宇宙飛行に成功した。また、実業家の前澤友作氏ら2人が日本の民間人として初めて国際宇宙ステーション(ISS)に滞在し、2021年は宇宙旅行元年と呼ばれる。誰もが宇宙に行ける日が、少しずつ近づいている。だが、宇宙長期滞在は生き物の体にさまざまな不具合を生じさせる。無重力環境や宇宙を飛び交

## 数々のアスリートを支える

アスリートのけが予防や治療方法を研究するスポーツ医学が専門。アスリートの健康管理やトレーニングを指導するアスレチックトレーナー(AT)としても多くのプロ選手らをサポートしてきた。

北海道出身。大学まで陸上競技に打ち込んだ。専門は100メートルハードルで、高校時代は14秒70と国内ランキング10位(当時)の記録を出す実力者だった。だが、筑波大体育専門学群2年生の春に膝を剥離骨折。痛みを感じながらも練習を続けたために状態が悪化し、選手を引退した。「選手としてもっと高みを目指せたのでは」と悔

## 白木 仁 教授 (体育系・スポーツ医学)



「腰割り」をする白木教授

しきが今もある。後輩たちには、たった一度のけがで競技人生を諦めた自分のようになつてほしくない。攻め、骨格や筋肉の形状、そんな思いから、トレーナーを目標するようになった。大学院で応用解剖学を専攻し、骨格や筋肉の形状、それらの組織の形成過程などを学んだ。また、四足歩行動物とヒトの骨格を比較し、ヒトの体で痛みが生じる理由や対処法を研究した。例えば、ヒトの背骨は

「腰割り」をする白木教授 1991年に筑波大の講義に、相撲で四股を踏む際の基本形だ。股関節周りの筋力を高め、可動域を大きくする働きがある。けがの減少や腰痛の軽減などに効果がある」と話す。

## 研究に基づく

## トレーニング実践

腰割りは足を大きく開き、腰を垂直に下ろす動きで、相撲で四股を踏む際の基本形だ。「股関節周りの筋力を高め、可動域を大きくする働きがある。けがの減少や腰痛の軽減などに効果がある」と話す。



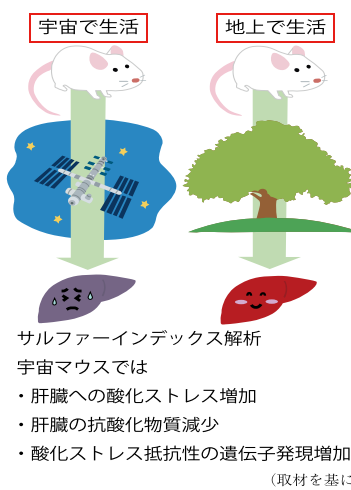
「ウォーカーカプシティー(Walkable City)」直訳すると「歩ける街」。更には、車中心に作られてきた都市を、人中心、徒歩・公共交通中心に転換して、ライフスタイル自体も歩く暮らしに転換した街のことです。

## 宇宙滞在が招く酸化ストレス

放射線の影響が考えられ、特に肝臓については、線維化や脂肪肝などの障害が引き起こされることなどが分かってきた。これらの現象は生体の酸化ストレスが原因である可能性が指摘されていたが、具体的な仕組みは明らかにできていなかった。

## 健康な宇宙生活の手がかりに

系は、バイオテクノロジー企業ユークレナ(東京都港区)の協力を得て、宇宙で飼育されたマウスの肝臓組織に含まれる硫酸化合物を解析した。生体内の酸化還元状態



物の代謝に関する遺伝子の発現が増加していた。これは、酸化ストレスにより減少する硫酸化合物を再供給するためのと考えられた。大津准教授は、研究のポイントとして特に、宇宙飼育マウスでエルゴチオニンという硫酸化合物が地上生活時の半分に減少していたことを挙げる。哺乳類の体内では合成できず、一部のキノコなどから微量を摂取する

サルファインデックス解析 宇宙マウスでは ・肝臓への酸化ストレス増加 ・肝臓の抗酸化物質減少 ・酸化ストレス抵抗性の遺伝子発現増加 (取材を基に作成)

## 実習の経験、今に生きる

健康問題も顕在化してきています。当時、土浦で見た「都市の衰退」は、筑波大生として車生活を謳歌していた自分の価値観を大きく



小山市都市整備部長 浅見知秀 さん

「ウォーカーカプシティー(Walkable City)」直訳すると「歩ける街」。更には、車中心に作られてきた都市を、人中心、徒歩・公共交通中心に転換して、ライフスタイル自体も歩く暮らしに転換した街のことです。

共交通にシフトさせるにはどうすればよいか。新卒で就職したJR東日本では、駅中心のまちづくり。その後転職した国土交通省では、法律や補助

した。実習での発表資料を見返すと、当時の提案内容を小山市で実行していた、うれしいような、進歩のないような複雑な気持ちになります。

金を活用して、土浦のようになっている都市の支援をしました。現在の小山市では、当時土浦でできなかった問題解決策を実行する仕事をしています。あの頃の伏線を回収する日が来る

# インカレベスト8で敗退

## 駒澤大戦1点遠く

【浦安市運動公園陸上競技場(千葉県浦安市)で】細井真生(人文文学類2年、写真も。12面に関連写真)が、筑波大は14日の準々決勝で駒澤大と対戦し、0-1で敗れた。コロナ禍で大会が中止された昨年を除き、2007年から4大会連続でベスト8にとどまった。駒澤大はその後勝利を重ね、15年ぶりに大学日本一に輝いた。

### サッカー

筑波大は11日の2回戦から登場し、京都産業大と対戦。前半終了間際の44分に角昂志郎(体専1年)が先制点を決め、0-1で折り返した。その後



と対戦。前半終了間際の44分に角昂志郎(体専1年)が先制点を決め、0-1で折り返した。その後52分に三浦雅人(同3年)が、63分には森海渡(同3年)がそれぞれシュートを決め、3-0で快勝した。駒澤大とは昨年11月の関東大学リーグ最終戦で対戦し、0-1で苦杯をなめていた。また、3年前のインカレでは今大会と同じ準々決勝で対戦し、1-2で敗れた相手だった。

トパスをつなぐプレーで相手陣に攻め込み、同36分に岩本翔(体専3年)がミドルシュートを放ったが、相手キーパーの体を張ったセーブで得点を阻まれた。後半開始から11分間で相手のコーナーキックが4本続いたがしのぎきり、筑波大はボールを細かく動かして攻めに転じた。しかし、相手の守備を崩せず、0-1で試合を終えた。

# 阿部 学生タイトル全制覇

## 室内インカレ女子単優勝で



優勝を決めた阿部=全日本学生テニス連盟提供

全日本学生室内テニス選手権(室内インカレ)が昨年12月15日に江坂テニスセンター(大阪府吹田市)で行われ、阿部宏美(体専3年)が女子シングルスで初優勝した。阿部は1年時の全日本大学対抗王座決定戦で筑波大を初の団体優勝に導き、2年時には全日本学生選手権(インカレ)のシングルスとダブルス、室内インカレのダブルスのタイトルを獲得。今回のシングルス優勝で、全日本学生タイトルを全て制覇した。

(松村英美) II 日本語・日本文化学類1年、山田優芽

### テニス

阿部は今大会の女子シングルスで、準々決勝までの3試合を1セットも落とさずに快勝。4日の準決勝では、神鳥舞(早稲田大)と対戦した。

阿部は積極的に攻め、第1セットを6-1で制したが、第2セットは3-6で奪われた。勝負の第3セットでは、ネット際に落とさ

# 森海渡 今季からプロ入団

## 「大きな決断だった」



森海渡

【一面参照】筑波大学蹴球部のエースストライカーとしてチームをけん引してきた森海渡(体専3年)が、今シーズンからのJ1柏レイソル加入を決断した。3年生で蹴球部を退部し、プロ選手としての挑戦を前倒した理由や今後の目標を聞いた。

### サッカー

早期のプロ加入をいつか考えていたから考えていたか

選抜肢の一つとして1年時から頭にはあったが、昨シーズンが始まるころに現役引退後の選択肢を広げるため、教職科目の単位も取っていたが、この時期にプロに行くことで教育実習ができて、教員免許も取れなくなる。大きな決断だったが、それ以上にチャレンジしたい気持ちが強かった。

加入を決めたのか 卒業論文以外の単位は3年間で取れた。早い段階からより高いレベルでプレーすることで、サッカー選手としても成長したいと強く思い、決断した。

大学に入学した理由の一つは、教員免許を取得し、現役引退後の選択肢を広げるため。教職科目の単位も取っていたが、この時期にプロに行くことで教育実習ができて、教員免許も取れなくなる。大きな決断だったが、それ以上にチャレンジしたい気持ちが強かった。

れたプレーをコート外から戻って打ち返し、ポイントを取るなど粘り強いプレーを見せて3ゲームを連取し、4-1とリードした。中盤で神鳥も盛り返し、4-4となったが、最後は突き放して、6-4でゲームを制した。

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

が、第8ゲームを永田にブレークされ、そのまま3-6で奪われた。最終セットは、第2、3ゲームをラフゲームで奪つた阿部が主導権を握って6-0とし、セットカウント2-1で優勝を決めた。

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

が、第8ゲームを永田にブレークされ、そのまま3-6で奪われた。最終セットは、第2、3ゲームをラフゲームで奪つた阿部が主導権を握って6-0とし、セットカウント2-1で優勝を決めた。

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

# プロクラブに7選手

## 小井土監督「感謝しかない」

サッカーのプロクラブ入団が内定した筑波大学蹴球部員の合同記者会見が昨年12月27日、大会会館で開かれた。会見には、山原怜音(体専4年) II J1清水エスパルス、加藤匠人(同4年)、森海渡(同3年) II 共にJ1柏レイソル、井川空(同4年) II J1北海道コンサドーレ札幌、小林幹(同4年) II アルビレックス新潟シンガポール(新潟S)の内定選手5人と、昨年7月にJ1横浜F・マリノスに加入した角田涼太郎(同4年)が発壇した。また、今年1月5日にはキーパーとして活躍した櫻庭立樹(同4年)のJ3FC大阪加入が発表された。

### サッカー

これで今年度、筑波大からは計7選手がプロ入りと復帰する。小学5年生から高校3年



所属クラブのユニフォームを着て写真撮影に応じる選手ら(昨年12月27日、大会会館特別会議室で)

勝利に貢献し、小学生時代から尊敬する大谷秀和選手(柏レイソル)を超えるような選手になりたい」と話した。

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う

阿部は「今大会は優勝を目指していたが、夏のインカレで課題となった攻めの弱さの克服を一番考えていた。全日本学生大会の全てのタイトルを取れるとは思ってなかった。う



# 黒川 悲願の学生日本一 笠は女子3位入賞



決勝戦でメンに飛び込む黒川(右) = LET'S KENDO 提供

剣道の学生日本一を個人で争う全日本学生選手権と全日本女子学生選手権が昨年12月4日、墨田区総合体育館(東京都墨田区)で開かれ男子は黒川雄大(体専3年)が優勝した。筑波大勢では2019年(20年は中止)の星野啓太(令和2年度体育専門学群卒)に続く優勝だ。女子は笠日向子(体専1年)が3位入賞、海津ゆきえ(同2年)がベスト8に入った。筑波大勢がベスト4以上になるのは4年ぶり。  
(福澤航介II生物資源学類2年)

### 剣道 全日本学生選手権

男子  
筑波大からは黒川、近本太郎(同4年)、重黒木祐介(同3年)の3選手が出場。近本は3回戦、重黒木は4回戦で敗退した。黒川は準決勝までの7試合を、積極的な試合運びで勝ち上がった。決勝戦では、木村恵都(鹿屋体育大)と対戦。試合開始約1分、お互いに間合いを詰めたところで、黒川が思い切りのいいメンを放ち、一本になった。取り返したい木村に果敢に攻められるも、黒川はうまく受けて、優勝を決めた。鍋山隆弘(男子監督(体育系・准教授))は、「黒川は大会序盤から順調だった。積極的に一本を取りに行く姿勢が優勝につながったのではないかと振り返った。黒川は、「優勝できてうれ

しい。筑波大の先生をはじめ、切磋琢磨してきた仲間のお陰だ」と語った。  
女子  
筑波大からは笠、海津ゆきえ、海津みなみ(体専4年)の3選手が出場した。笠は準決勝までの4試合を、安定した試合運びで勝ち上がった。準決勝では、妹尾舞香(鹿屋体育大)と対戦した。高校の先輩で、昨年9月に行われた全日本女子選手権の覇者でもある妹尾に対し、果敢に攻めた。試合開始から約12分、笠は妹尾に距離を詰められてメンを打たれ、これが一本となり、決勝進出を果たした。笠は「妹尾選手はずっと目標としていた選手。次の対戦では勝ちたい」と雪辱を誓っていた。有田祐二(女子監督(体育系・准教授))は「3選手ともよく頑張った。笠は試合巧者ぶりが際立っていた」と話した。

### 11年ぶりの優勝 新人戦で関東制す

関東女子学生新人戦が昨年12月8日、東京武道館(東京都足立区)で開かれた。各大学の1、2年生が5人でチームを組む団体戦で、筑波大は2010年以来11年ぶりに優勝した。初戦から準々決勝までの

4試合を、それぞれ先鋒から大将まで負けなしの圧倒的な強さで、危なげなく勝ち上がった。準決勝では東洋大と対戦した。先鋒戦で川合芳奈(体専1年)は、相手が止まるところをメンに飛び込み、一本勝ちを収めた。次鋒戦の岩本瑚々(同1年)は、相手がメンを打った隙を突いてメンを決め、一本勝ち。中堅戦は海津ゆきえ(同2年)が立て続けにコテとメンを決め、二本勝ちを収めた。3連勝で決勝進出を決めた。その後の副将戦は引き分け、大将戦は二本勝ちを収めた。大将の笠日向子(同1年)は相手のメンをうまくかわし、空いたところにかさずメンを打ち、一本を取った。相手は取り返そうとするも、笠は攻めの姿勢で、落ちていて一本を決めようとした瞬間に、しっかりと決めてきた」と語った。(福澤航介)

### 「良い流れを作れた」

は、相手がメンを打った隙を突いてメンを決め、一本勝ち。中堅戦は海津ゆきえ(同2年)が立て続けにコテとメンを決め、二本勝ちを収めた。3連勝で決勝進出を決めた。その後の副将戦は引き分け、大将戦は二本勝ちを収めた。大将の笠日向子(同1年)は相手のメンをうまくかわし、空いたところにかさずメンを打ち、一本を取った。相手は取り返そうとするも、笠は攻めの姿勢で、落ちていて一本を決めようとした瞬間に、しっかりと決めてきた」と語った。(福澤航介)

ちで試合終了。筑波大の優勝が決まった。有田祐二(女子監督(体育系・准教授))は「選手には、一人一人が思い切ったやるように伝えていた。優勝できて良かった」と話した。大将を務めた笠は「チームで良い流れを作れたことが優勝につながった。(優勝を決めた)決勝の大將戦では、落ちていて一本を決めようとした瞬間に、しっかりと決めてきた」と語った。(福澤航介)

## 山登りの5区 10位相当 福谷「目標通りの結果出せた」

### 箱根駅伝

筑波大陸上競技部の福谷颯太(体専3年)が1月2、3日の第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に関東学生連合チームII(5区)として出場した。関東学生連合はオープン参加で正式順位はつかないが、福谷は往路5区を区間10位相当の1時間13分01秒で走った。筑波大生の箱根駅伝出場は2020年にチームとして出場して以来2年ぶり。関東学生連合は総合記録11時間0分25秒で、14位相当だった。(細井真生)

### 陸上

筑波大は昨年10月の予選会で13位に終わり、本戦出場を逃した。福谷は個人16位で、関東学生連合に最上位で選出された。福谷が走った5区は「山登り」と呼ばれ、全長20.8キロ、高低差800メートル以上のコースを駆け上がる。初の本戦出場となった福谷は、小田原中継所(神奈川県小田原市)で4区の村上航大(上武大)から14番目でたすきを受け取った。序盤は順調な走りを見せ、7.1キロ地点の大平台



出走前、部員からのメッセージを掲げる福谷 = 陸上競技部提供

と語った。だが、「気持ちの急いでしまうとさらに足に負担をかけてしまう」と焦る気持ちを抑え、ペースを調整して走り続けた。残り4.6キロとなる芦之湯(同)地点を15番目で通過すると、順位を維持してゴールの芦ノ湖(同)に着。福谷の記録は5区の中で、1位の青山学院大とは8分09秒差だった。福谷は「1時間13分で走り、区間10位相当に入るのが目標だった。その通りの結果は出せたが、足をついていなければもっと良いタイムが出たかもしれない。悔しさも残った。駅伝主将として、筑波大が来年の箱根駅伝に出場できるように、今回の経験を部員にも伝えていきたいと話した。」

また、関東学生連合の往路記録は5時間30分15秒で、1位の青山学院大とは8分09秒差だった。福谷は「1時間13分で走り、区間10位相当に入るのが目標だった。その通りの結果は出せたが、足をついていなければもっと良いタイムが出たかもしれない。悔しさも残った。駅伝主将として、筑波大が来年の箱根駅伝に出場できるように、今回の経験を部員にも伝えていきたいと話した。」

「勝負所だと集中力が増す。一本でも取られれば筑波大の負けが決まる大一番で、その緊張感を乗り越えていた。中央大の代表はその年の全日本女子選手権覇者だった。試合開始10分、見事な飛び込みメンを決め、優勝を勝ち取った。福岡県出身。剣道をしていた父と兄の影響で5歳の時に「今宵少年剣道部」に入り、競技を始めた。小学6年時には全国道場少年剣道大会の団体戦で準優勝した。中学では剣道部での週6回の練習に加え、週4回の道場での練習にも励み、中学2年時に全国中

「個人でも日本一に」



関東女子学生優勝大会 団体戦で優勝

## 笠 日向子 (体専1年)

1年時の悔しさを胸に、大將として臨んだ2年時夏の玉竜旗剣道大会では、決勝で前年の魁星旗で敗れた守谷高校との対戦。大將戦に勝利した。一緒に戦った先輩たちに申し訳ないと感じたが、「この負けを絶対に忘れるな」という監督の言葉に「次の大会は何となく加わった。その

「個人でも日本一に」

1年時の悔しさを胸に、大將として臨んだ2年時夏の玉竜旗剣道大会では、決勝で前年の魁星旗で敗れた守谷高校との対戦。大將戦に勝利した。一緒に戦った先輩たちに申し訳ないと感じたが、「この負けを絶対に忘れるな」という監督の言葉に「次の大会は何となく加わった。その

# 留学生らに餅配布

## 日本の正月文化を紹介

留学生と外国人研究者を中心に餅を配布する「振舞餅-Furumai Mochi 2021」が昨年12月21〜24日、チューデントサポートセンターのチューデント・コモンズ(1A棟)で開かれた。日本の正月文化の紹介や異文化交流の促進が狙いで、多くの学生に参加してもらった。キャンパスに来る人が多い秋Bモジュールの試験期間中に開催した。日本人学生を含む約300人が紅白の餅(二つ)を受け取り、書道体験などを楽しんだ。(大橋翔和・写真も。12面に関連写真)



留学生らに餅を配布する「振舞餅-Furumai Mochi 2021」の様子(昨年12月22日、1A棟)

同センター国際交流支援室と国際局グローバル・コミュニケーションが共催した。餅と一緒に配布された冊子では、門松やおせち料理、羽根つきなどが英語で解説された。会場にはけん玉やま回しなどの正月遊びのコーナーが設けられた他、芸術専門学群の書道領域の学生による季節の書と「筑波大学池坊華道部」による生け花が展示され、日本の正月文化が紹介された。

作りの体験ブースも設けられた。コロナ禍でも留学生が孤立しないよう、今年度も引き続き来場した学生がいたり、書道体験に毎日訪れる学生がいたり好評だった。コロナ禍でも留学生が孤立しないよう、今年度も引き続き来場した学生がいたり、書道体験に毎日訪れる学生がいたり好評だった。

### レジにゲート設置

カスミ筑波大学店

#### 業務負担の軽減狙い

スーパーマーケットのカスミ筑波大学店が昨年12月13日、レジゲートを設置された。同店の利用客は必ずこのゲートを通り、決済済みの確認を終えてから退店する。利用客が安心して買い物できるようにすることと従業員のレジ業務の効率化を図ることが狙いだ。決済方法の完全キャッシュレス化なく、先進的な取り組みを進めてきた同店で試験的に導入された。(寺尾優次 写真も)



新設されたレジゲート(1月14日、カスミ筑波大学店)

同店での決済は、セルフ＆ゴーをインストールしたスマートフォンで商品と専用アプリ「スキャ」のバーコードを読み、決済を進めてきた同店で試験的に導入された。

# 筑波大生 古着店オープン

## 自分の「似合う」見つける場に

筑波大生が経営する古着店「Lily of the valley」が昨年12月3日、つくば駅前商業施設「tonarie Q」(トナリエ・キュー)つくば吾妻の1階にオープンした。創業を目指す若い世代をつくば市が支援する「チャレンジショップ事業」の一環で、今年2月末まで営業を続ける。代表の岡本萌美さん(社2年)は「お客様が自分に似合うスタイルを見つけたり、普段は着ない服に挑戦したりするお手伝いがしたい」と話している。(山田優芽 写真も)



商品の古着を持つ岡本さん(昨年12月23日、tonarie Qにて)

この事業は、つくば市の「この花言葉は「幸福の再来」で、着られなくなった服をお客さんに届けて、再び服が幸せになるように」という思いを込めた。約90平方メートルの店内には、ジャケットやコートなど、着3000〜6000円の古着約300着が並ぶ。また、アクセサリーやバッグ

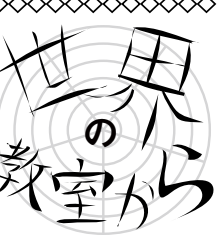
なども置かれており、岡本さんを含め17人の学生スタッフが、服のコーディネートに力を入れている。中心は70〜90年代の相模原にも積極的に対応している。「昨日よりちょっとおしゃれに」がコンセプトで、強さの中心は70〜90年代の相模原にも積極的に対応している。

代のブランド物だ。月に2回、スタッフの筑波大生が千葉県や埼玉県の卸業者から買い付けている。岡本さんは、高校生の頃から経営に興味があり、筑波大入学後は学内サークルや東京都での起業の勉強会に参加してきた。また、友人から「服のコーディネートに力を入れることが多く、昨年4月から古着店の出店を計画。同8月にチャレンジショップ事業に応募し、採択された。

キートンへの出店準備と並行し、昨年10月には筑波大生が経営するカフェ「縁」の運営も担当している。縁は、昨年10月には筑波大生が経営するカフェ「縁」の運営も担当している。

「縁」の運営も担当している。縁は、昨年10月には筑波大生が経営するカフェ「縁」の運営も担当している。

縁は、昨年10月には筑波大生が経営するカフェ「縁」の運営も担当している。



# 異文化交流で視野を広げ

## エディンバラ大学

### 池田果凛

私は英国北部スコットランドのエディンバラで暮らしています。コロナ禍で不安と希望が入り混じる中、留学が始まる前から早急な準備がはじまっています。その美しい街並みは歴史があり、世界遺産に登録されています。街の随所に大学の関係施設が点在しています。私はメインキャンパスから30分ほどの学生寮に住んでいます。



エディンバラ大学で授業を受ける池田さん

現地では、世界遺産に登録されたエディンバラの歴史を学ぶ機会があります。英国の食文化が、異文化の食文化を体験する機会があります。油に浸して焼いた食パンや羊の血で作ったパイ、ものすごく甘いチョコレートバーのフライなど、不思議な食文化を体験しています。

エディンバラ大学では、現地在、宗教、キリスト教史、中世の民衆宗教の3つの分野で授業が行われます。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

本格的な知識を学びます。一方チューリアルは、チューリアルと少人数の学生で行い、レクチャーで学んだ知識を生かして問題に取り組み発表します。発表後はディスカッションを行います。

# 北米先住民族の宗教と神話の世界

——歴史と文化交渉の観点から  
木村武史 教授(人社系) 著

本書は、北米先住民族を長年研究してきた著者による、歴史と文化交渉というテーマでまとめられる論考を集めたものだ。神話伝承を歴史と文化交渉の状況において成立したテクストとみなし、伝統宗教を生きた北米先住民族が主体的に語った神話テクストを読み解いていく。イエスス会宣教師と狩猟採集民の間の誤解、「ホビの予言」の歴史的形成過程、カンニバルの怪物ウィンディゴ伝承、蜘蛛や昆虫が登場する神話伝承の考察、また伝統的言語の喪失危機と保存の試みなどを取り上げる。

◆ A5判並製、406頁。1月27日刊行。6050円(税込み)。

◆ A5判並製、406頁。1月27日刊行。6050円(税込み)。

### DACセンター 障害に合わせた学習空間設置 国内の大学で初

筑波大のダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)に、障害学生向けの学習・休憩スペース「アクセシブルスタディルーム(ASルーム)」が設置された。障害学生が持つ感覚過敏などに対応し、部屋の色や光、音を自在に調節できる。国内の大学では初の設置で、昨年8月の運用開始から16人が利用している。

ASルームは、DACセンターを合わせて約1万6500人の学生が利用できる。広さは約40平方メートルで、複数人用の共同自習室(第二エリア2A307)と一人用の自習・休憩室(同エリア2A307-1)の二つに分かれている。ASルームは、DACセンターを合わせて約1万6500人の学生が利用できる。広さは約40平方メートルで、複数人用の共同自習室(第二エリア2A307)と一人用の自習・休憩室(同エリア2A307-1)の二つに分かれている。



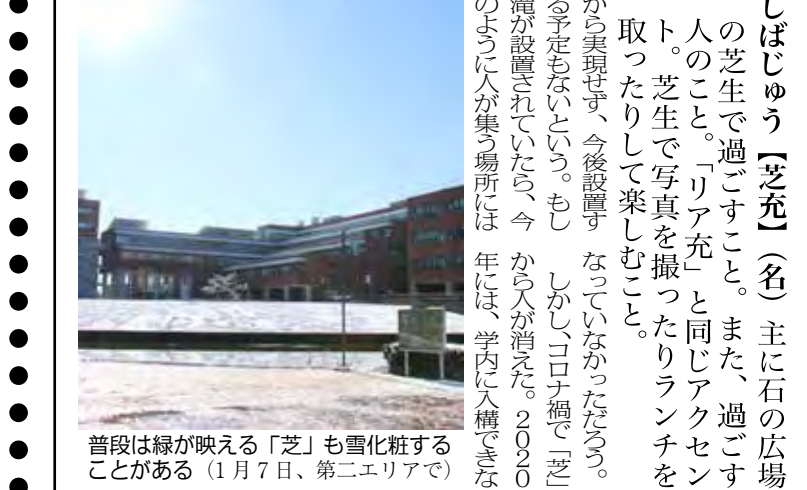
部屋の光の色を調節し、備品の説明をする佐々木准教授(昨年12月27日、2A棟)

ある。だが、これまでは耳栓の貸し出しなど対症療法的な対応が中心で、根本的な対策は難しかった。そこで、障害科学を研究する佐々木銀河准教授(人間系)と小山慎一教授(芸術系)らは、2019年にASルームの設置プロジェクトチームを結成した。国内外の事例や、障害学生の意見を取り入れながら設計を進め、昨年7月に完成させた。一人用の自習・休憩室では、学生の多様な感覚に配慮し、照明の色や室内の音楽を、学生の好みに合わせて調整できる。備品にも工夫を凝らした。円筒内の水の中を泡が登っていくバブルチューブや簡易式テント、中心部分を握る羽を弾く回転する



筑波発! キャンパスことば

石の広場の「芝」は、友人と昼食を取ったり、語り合ったりする学生の憩いの場だ。開学当初、ここには幅50メートル、落差7メートルの人工滝を設置する計画があった。松美池など学内の五つの池は、静かな水として、既存の谷津田を利用して造られた。唯一動かな水として計画されたのが、滝だった。施設部によると、コスト面



普段は緑が映える「芝」も雪化粧することがある(1月7日、第二エリア)

しばじゅう「芝充」(名)主に石の広場の芝生で過ごすこと。また、過ごす人のこと。「リア充」と同じアクセシブル。芝生で写真を撮ったりランチを取ったりして楽しむこと。から実現せず、今後設置する予定もないという。もし、滝が設置されていたら、今年には、学内に入構できない中、「芝」で友人とのんびり過ごすのも難しい。「芝」は筑波大の今を映す鏡。初々しい一年生の集団や、さまざまな言語で交流する留学生はあまり見られなくなった。だが、本当は学生も「芝充」したいはずだ。人的交流の場として、「芝」が再びにぎわうことを願いたい。(西村大祐 人文系4年、写真も) 〓おわり

# 「つくば茶寮」発売 筑波大とコート・ダジュール 共同開発



つくば茶寮が店頭に並び(1月12日、コート・ダジュール本店)

茨城三大銘茶の一つ「猿島茶」の抹茶ペーストを生地と餡に練り込んだまんじゅう「つくば茶寮」を、つくば市の洋菓子店「コート・ダジュール」(本店・つくば市東新井)が昨年12月に発売した。筑波大と共同開発する二期「今プロジェクト」の第一弾。茶葉を含むカテキンに体への脂肪蓄積抑制効果があることを突き止めた筑波大の研究成果を生かして商品化した。プロジェクトを企画した事業開発推進室の担当者は「つくばは土産として定着させたい。つくば市や筑波大の紹介になる」としている。

つくば茶寮は白餡ペーストのまんじゅうで、柔らかくしっとりとした食感で、ほのかに香る抹茶のほろ苦さが特徴だ。同プロジェクトは、つくば市産の抹茶ペーストを開発し、土産になる菓子を開発し、筑波大の教育・研究成果の広報や地域おこしにつなげることを目的だ。

健康イノベーション開発研究センター長の坂本和一准教授(生環系)と猿島茶を栽培する野口熊太郎茶園(茨城県境町)の共同研究で、茶葉が含むカテキン類には体への脂肪蓄積抑制効果があり、その中でもエピガロカテキンガレート(EGCG)が高い効果を

持つことが判明。今回の商品化につながった。パッケージデザインは王旭輝さん(芸術P前期2年)が担当した。緑色を基調に、曼荼羅に着想を得た幾何学模様やカテキンの構造式が描かれている。王さんは「抹茶や自然豊かな筑波大をイメージさせる緑で統一感を持たせた。曼荼羅は研究の広がりや連続性を表現したと話した。つくば茶寮は3個入り530円(税込)、5個入り1000円(税込)。3店舗あるコート・ダジュール全店と同店のオンラインショップで販売中。売り上げの一部は筑波大に寄付され、学生支援のために役立てられる。つくば市認証物産品「つくばコレクション」への登録を申請中。今後はカスミ筑波大学など学内での販売も目指す。



つくばアクチュアルシミュレーション同好会 36人。活動は水曜と土曜の週2回で、毎回10人

## ゲームを楽しむ憩いの場



カードゲーム「コヨーテ」を楽しむメンバー(1月12日、文化系サークル館)

前後のメンバーが集まる。1月中旬、記者が取材に訪れると、瞬く間に10種類ほどのゲームが卓上で遊ぶゲームなど、100種類を超すゲームが積み上げられていた。メンバーが持ち寄ったゲームをプレイし、面白い取組で、その数は増え続けているという。現在の会員は36人。活動は水曜と土曜の週2回で、毎回10人に挑戦した。この日の参加者は9人だったが、2人からプレイできる。プレイヤーは山札からカードを1枚ずつ引き、自分には見えないが、周囲のプレイヤーには見えるようにカードを額の上に掲げる。カードは36枚あり、全体的に数字を2倍にする特殊カードがあったりと、単純なようで奥が深いゲームだ。勝負が決着すると「やられた」「なるほど」などと、メンバーたちは互いの戦略について、楽しげに話し始めた。ここ数年、人気が高まっているのが、テーブルトーク・ロールプレイングゲーム(TRPG)だ。架空の物語世界を舞台に、参加者が謎を解いたり、冒険をしたりする。参加者はゲームの進行役の指示に従い、割り振られたキャラクターを演じ、他の参加者と会話を重ねていく。テレビゲームのRPGと大きな違いは、人間が全ての処理を行うことだ。やり終えるまで2〜6時間程度かかるが、石上元直さん(物理1年)は「プレイヤー次第で物語の内容や結末が毎回変わる。物語を能動的に広げられる没入感や、みつきになると魅力を感じる。また、平野玲弥さん(比文1年)は、キャラクターの姿を借りて会話している」と、参加者の思わぬ性格や考え方に触れられる瞬間があつて面白い」と言う。同会は対面でアナログゲームを実施することこだわってきたが、ここ2年ほどは、オンラインでの活動を強いられた。「テーブルゲームは相手の表情や身振りから次の行動を予測することが楽しい。オンラインだとその魅力が半減する」と大野さん。コロナ禍の収束を願う気持ちは、他のサークルと変わらない。(太田碧 第2類1年、写真も)

# Who's Who?

「つくコレ」グランプリ

## 旗手 有菜 さん (国際4年)



グランプリのたすきをかけてほほ笑む旗手さん=本人提供

男女平等な社会を実現したい。その思いを実現する第一歩として、「ジェンダー問題に もっと関心を持ちませんか」と訴え、昨年11月の「TSUKU BACCOLLECTION(つくコレ)2021」でグランプリに輝いた。「自分に自信がついた」と振り返る。将来は国連職員になる夢を描く。

ジェンダー問題への関心を持つようになったのは大学入学後だ。2年時の授業で、途上国には男女差別が根深く残っていることを知った。同時期に、国連開発計画(UNDP)の日本人女性職員の話や、世界規模で、男女

が共に生きるすい社会づくりを進められる仕事だ」と思ったという。つくコレへの参加を決めたのは、出場者として「ジェンダー問題」を発信することで、より多くの人がジェンダー問題に触れるきっかけを作りたいと思ったからだ。つくコレの活動期間中には、「ジェンダーセッション」と銘打ったライブ配信を5回行った。自身が立ち上げたジェンダー問題の研究サークルから各回1人をゲストに招き、「性教育の歴史」や「人工中絶の倫理問題」など、それぞれのゲストが得意とする話を引き出した。視聴者からは「ジェンダー問題に興味を湧き調へ始めた」などの声が寄せられ、目的が達成できたと感じた。

## 男女平等の実現訴え

### 将来は国連職員を目指す

「世界に行く前に日本の現状を知りたい」という理由から、大学では日本の育児環境について研究している。「核家族化や男らしさ、女らしさというしがらみ、女性の低賃金などにより、女性が仕事と家事・育児を両立できない状況が生じている」と分析。ベビシッター制度の導入や男性の育児休暇取得率向上などが必要だと指摘する。

現在、国連ユースボランティア・プログラム事業の筑波大代表を務めている。同事業では、協定を結ぶ日本の大学が、学生をインターン生として海外に派遣する。任期は5カ月で、筑波大では、応募者から選ばれた1人が参加する。大学2年時から毎年応募してきたが、今年度初めて代表に選ばれた。

「カザフスタン」は塩害による農作物の被害が深刻な地域。本来なら、塩害の実態調査や地域住民へのインタビューをする予定だったが、現地に行かないと分からないことも多く、悔しい。だが、オンラインでもFAOのプロジェクトや業務内容、忙しいなど国連職員の仕事を知ることができていたと語る。

国連職員の応募には修士号が必要だが、大学院に進学し、女性の育児や出産環境、男女という固定観念によるしがらみの打破について研究を続ける。長い道のりだが、夢に向かって歩き続ける。

次号は 4月5日(火) 発行予定です

## 大学入学共通テスト実施



感染対策の徹底された会場で受験生は試験を受ける(1月15日、3A棟で) =車谷郁実撮影

2面へ

学内総合

## 吹奏楽団 定期演奏会



リハーサルでジングルベルを演奏する吹奏楽団の団員ら(昨年12月12日、ノバホールで) =山田優芽撮影

5面へ

学芸

## サッカー 全日本大学選手権



先制点を挙げた角(中央)に駆け寄る選手ら(昨年12月11日、京都産業大戦で) =細井真生撮影

8面へ

スポーツ

## 振舞餅



正月遊びのコーナーを見学する留学生(昨年12月22日、1A棟で) =大橋翔和撮影

10面へ

学生生活

### 編集後記

ます(2面)▼大学では授業がオンライン化されたこともあり、人間関係の幅が狭まり、課外活動もままなりません。そんな状況下で本紙には何が出来るだろうかと考えます▼今号ではさまざまな筑波大生を取り上げました。トップアスリートとして各競技を引っ張ってきた筑波大生(1、3、9面)、古着店を始めた筑波大生(10面)、つくば土産の開発に関わった筑波大生(11面)……▼紹介した筑波大生の数だけ、思いや生き方がありました。本紙では、これからもそうした筑波大生の姿を読者に届けたいと思います。(編集長・車谷郁実) 社会学類2年

【編集・発行】 筑波大学新聞編集委員会 ▼委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) ▼社会学系 文社会学系 教授 ▼副委員長 関瑞穂(学生部長) ▼委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授) ▼図書情報学系 清水論(体育系・教授) ▼スポーツ社会学系 菅谷純子(生命環境系・教授) ▼果樹園芸学

【筑波大学新聞編集部】 ▼編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) ▼サイエンスコミュニケーション ▼編集長 車谷郁実(社会学類2年) ▼副編集長 川千翔(人文学類2年) ▼天野隼太(比較文化学類2年) ほか編集部員18人

発行所 筑波大学 印刷 ヒラマ写真製版